



2021年7月14日公演より 写真提供:サントリーホール

「どうしてオルガンの音は人間に宇宙を感じさせるのか？」
その疑問を、佐治先生のお話とオルガン演奏で解き明かした先回のコンサートに引き続き、早くも第2弾を開催させていただけることになりました。

「時間芸術」と言われる音楽。
友達とおしゃべりしていたり、リラックスしてゴロゴロしている時の1秒などあっという間で意識もしていませんが、音楽を演奏している最中に、もしも1秒の無音の時間を作ったら、それはとても大きな意味を持ちます。すぐに過去になるし、すぐに未来としてやってくる時間。
今回はその「時間」の不思議と、佐治先生の仰る「私たちは宇宙のひとつかけらなのだ」という素敵なお話について、オルガンの音を浴びながら皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

石丸由佳

[オルガン]

世界的権威のあるシャルトル国際オルガンコンクールで優勝、併せてJ.アラン賞受賞。バリのノートルダム大聖堂等ヨーロッパ10か国以上の各地、また日本全国でリサイタルを行っている。東京藝術大学卒業、同大学院修了。デンマーク王立音楽院、シュトゥットガルト音楽大学にて国家演奏家資格取得。国内外の主要オーケストラとの共演も多く、指揮者ではレナード・スラットキン、チョン・ミョンフン、ミハイル・プレトニョフ等とも共演。またテレビやラジオへの出演も多い。これまでにない企画演出やプログラミングは各所で高い評価を受けており、オルガンの普及、教育プログラムにも尽力している。2019年、キングレコードより2枚目のCDアルバム「オルガン・オデッセイ」、2020年10月には「オルガン・クリスマス」をリリース。2020年4月より新潟市民芸術文化会館りゅうとびあ専属オルガニストに就任。武蔵野音楽大学非常勤講師。ココベリオルガンスタジオ主宰。



佐治晴夫

[おはなし]



1935年東京生まれ。理学博士(理論物理学)。松下電器東京研究所、東京大学物性研究所、玉川大学教授などを経て、現在、鈴鹿短期大学名誉学長、北海道「美宙」天文台台長、JAXA宇宙連詩編纂委員会委員長。宇宙創生に関わる「ゆらぎ」の理論研究で知られる。太平洋戦争のさなか、1942年、東京初空襲の直後、当時の日本には稀少な存在だったパイプオルガンの焼失を懸念した家族に連れられ、初めてその音を聞いて以来、オルガンに魅せられ今日に至る。

“2021年 宇宙の旅”によせて

音楽は時間の中に存在しますが、時として、聞き手、あるいは演奏者自身の時間でさえも消滅させてしまうという不思議な力をもつ芸術です。その時間とはいったい何なのでしょう。アウグスティヌスの「告白」を引き合いに出すまでもなく、時間とは、誰でもが知っているようで、いざ、何かと問われれば答えに窮してしまう“まぼろし”のような存在です。物理学での時間は、ものごとが生起する順序を規定する単なる座標で、絶対的な過去も未来もないのですが、人間は、過去に戻ることも、未来を旅することもできない時間がかかっています。しかも、自分自身の誕生や終焉を実体験として認知することはできないのですから、一人称の時間には、始まりもなく、終わりもないという意味で、永遠だということにもなってしまいます。つまり、生きることそのものが、時間を創出する営みだということなのかもしれません。時間の不思議です。

ところで、宇宙を構成する主要元素を多い順に並べてみると、水素、ヘリウム、酸素、炭素、窒素・・・になりますが、軽いヘリウムを除けば、人体でも同じです。人間もまた、宇宙の「ひとつかけら」だということです。一方、地球人類が誕生して以来、その歴史の大半は闘争であり、現在も国内外を問わず、分断と対立の構造は変わっていません。これは、地球人類の宿命なのでしょう。その答えは、地球外文明を知ることにあります。それが、現在も続けられている地球外知的文明「ET」探査(SETI: "Search for Extraterrestrial Intelligence")です。この銀河系の中で、地球人類は孤独な存在なのか、それとも隣人がいるのか、数学と音楽で綴られた地球文明のタイムカプセルを抱いて今も225億kmの彼方を飛び続ける宇宙探査機ボイジャーに思いを馳せながら、美しいオルガンの調べにのせて、宇宙と人生の未来展望についてお話してみたいと思います。



一般社団法人 星つむぎの村

[天体映像投影]

星をキーワードに人々が集うコミュニティ。物語を大切に、星や宇宙に関するワークショップを開催しています。

《 チケットのご予約 》

- サントリーホールチケットセンター
0570-55-0017 (10:00~18:00 休館日を除く) <http://suntory.jp/HALL/>
- チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 204-325) <http://pia.jp/>
- ローソンチケット <http://l-tike.com/> (Lコード: 34815)
- イープラス <http://eplus.jp>